

定格表

本品の規格および外観は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

カタログ 番 号	型 番	使用電圧 周 波 数	入力電流	消費電力	LED光源 タイプ	平均演色 評価数	器具サイズ※ (器具幅×器具高さ×器具長)	質 量	材質・仕上げ
H-302 ^G _H	0AHH-00B7-1 ^G _H	100/200V 50/60Hz	(100V時) 0.126A (200V時) 0.063A	12.6W	電球色タイプ (3000K)	Ra85	129 mm × 129 mm × 810 mm	8.5 kg	本 体：人工再生木 G：グレー色 H：サンティブラウン色 灯 体：アルミダイカスト グレー色塗装 レザートーン仕上げ グローブ：乳半アクリル ※H-303G・H/304G・H
H-303 ^G _H	0AHH-01B4-1 ^G _H						88 mm × 88 mm × 750 mm	5.5 kg	
H-304 ^G _H	0AHH-02B1-1 ^G _H						88 mm × 88 mm × 350 mm	4.2 kg	

(※)埋込用支柱をのぞく

保守とお手入れ

⚠ 注意 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

- LEDユニットの寿命は、約40,000時間です。
LEDユニットの寿命は照度が初期値の70%に減退するのにかかる時間です。
寿命を超えても点灯し続けますが、充分な性能が得られませんので、あらたな器具の施工をおすすめいたします。



お 願 い

◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

変色・破損の原因となります。

汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら
柔らかい布で仕上げてください。

◇点灯中及び消灯直後のLEDユニット周辺にさわらないでください。**やけどをするおそれ**があります。

◇カバーなどのお取扱いの際には、必ず両手で静かに行ってください。



お読みになりましたら、この取扱説明書はいつでも見られる所に大切に保管してください。

アフターサービスのお問い合わせ



商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買上げいただきました販売所・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称と取付方法」のイラストをご参照ください。

お客様相談窓口

ナビダイヤル  **0570-550-575**
(全国共通番号)

受付時間(土日祝を除く) 10:00~17:00

通話料はお客様のご負担となります
PHSからは接続できません

<http://www.yamagiwa.co.jp/>

取扱説明書

MO-series



yamagiwa

このたびは、ヤマギワの照明器具をお買い上げくださいますと誠にありがとうございます。
この説明書をよくごらんのうえ、正しく取り付け、正しくご使用ください。
お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

ご注意：電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

目 次

- 1 ページ：照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意、お願い
- 2 ページ：部品名称と取付方法
- 3 ページ：部品名称と取付方法・続き、照明器具ご使用についての安全上のご注意
- 4 ページ：定格表、保守とお手入れ、アフターサービスのお問い合わせ

照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意

⚠ 警 告

- 火災のおそれがあります
◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。
◇電気工事は電気設備技術基準及び内線規程にしたがって確実に行ってください。
- 落下によるけがのおそれがあります
◇取付は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。
◇器具の取付は、取付場所の強度を確認し、質量に耐える所に確実に行ってください。
強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。
- 感電のおそれがあります
◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。
◇アース工事は電気設備基準及び内線規程にしたがって確実に行ってください。
◇電源接続後の絶縁は確実に行ってください。
- 火災のおそれがあります
◇紙や布または燃えやすいものなどで覆わないでください。



⚠ 注 意

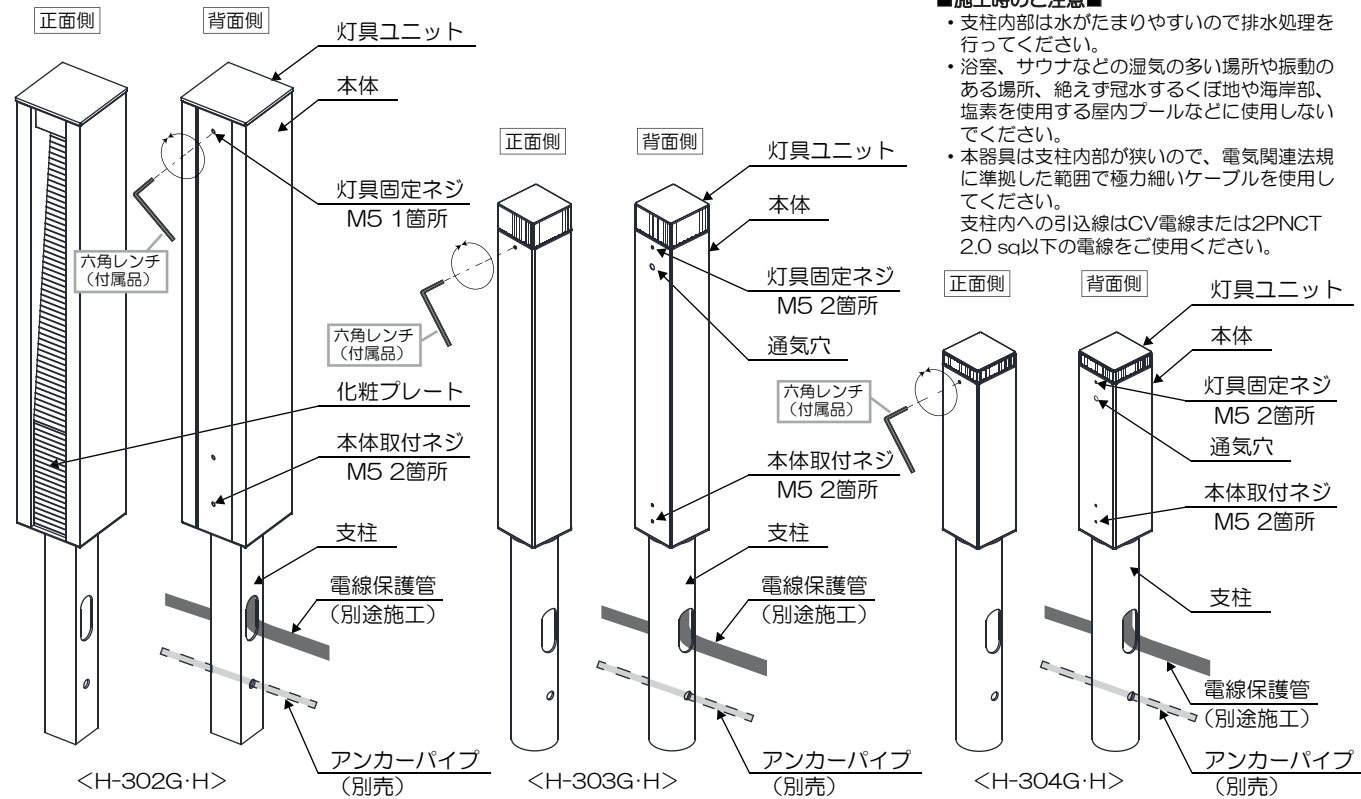
- ◇電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
- ◇施工は取扱説明書にしたがい確実に行ってください。**落下・感電・火災の原因**となります。
- ◇器具を改造しないでください。**落下・感電・火災の原因**となります。
- ◇器具の着脱は、両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。**落下によるけがの原因**となります。
- ◇設置した器具を説明書に従わず無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。**落下によるけがの原因**となります。
- ◇表示された電源電圧（**定格電圧±6%**）以外の電圧で使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
- ◇この器具は調光器との併用ができません。調光器を接続しないでください。**火災の原因**となります。
- ◇器具の使用環境温度は**5~35℃**、湿度**85%以下**の場所に設置してください。
誤って高温の所に設置しますと**火災の原因**となることがあります。
- ◇この器具は屋外使用器具ですが、湿気の多い場所・腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
不備がありますと絶縁不良による**感電・火災の原因**となります。
- ◇この器具はアース工事が必要です。電気設備技術基準及び内線規程にしたがってアース工事を行ってください。
不備がありますと**感電・火災の原因**となります。

お願い 電気工事店様へ…工事が終わりましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

部品名称と取付方法

(図は器具を省略、抽象化したものです)

注意 必ず電源が切っていることを確認してから、作業を開始してください。



■施工時のご注意■

- 支柱内部は水がたまりやすいので排水処理を行ってください。
- 浴室、サウナなどの湿気の多い場所や振動のある場所、絶えず冠水するくぼ地や海岸部、塩素を使用する屋内プールなどに使用しないでください。
- 本器具は支柱内部が狭いので、電気関連法規に準拠した範囲で極力細いケーブルを使用してください。
支柱内への引込線はCV電線または2PNC 2.0 sq以下の電線をご使用ください。

1. 取付まへの確認をする

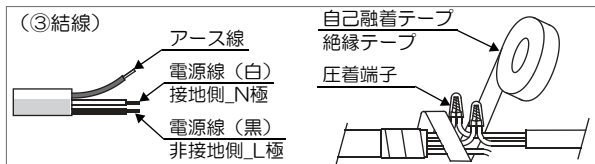
取付工を開始する前に、屋内配線への電源を必ず切っておいてください。
不備がありますと**感電・不点灯・器具破損の原因**となります。
あらかじめ付属の六角レンチを使用して、器具から灯具ユニット・支柱を取り外しておきます。
<H-302G・Hのみ>化粧プレートを上部にスライドして外しておいてください。
また器具には向きがあります。一度設置すると調整ができませんので、必ず方向を確認してください。
不備がありますと**正しい光の効果が得られない**可能性があります。

2. 支柱を埋め込む(図1)

支柱内に電源電線を通して器具内に引き込んでおきます。
電源電線は3芯を使用し、電線保護管をくぐらせて保護してください。
電線保護管はG.L.ラインより上、50 mm以内にしてください。
支柱はベース下面から400 mm埋め込みます。埋め込み部分は必ずコンクリート等で補強を行ってください。また地盤の不安定な場所に埋め込む場合は、アンカーパイプ(別売)を予めご用意頂き、支柱に通した上で埋め込んでください。埋め込んだ支柱にもたれたり、衝撃を与えないでください。
不備がありますと**器具転倒・破損の原因**となります。

3. 電源電線およびアース線を接続する(図2)

器具から取り外しておいた灯具ユニットの口出し線と、2項で器具内に引き込んだ電源電線を接続します。
①電源電線は本体下面を通し、②電源固定板上のコードバンドをくぐらせておき、接続後は確実に固定します。
③電源電線と口出し線を接続します。結線部は自己融着テープ・絶縁テープで確実に絶縁と防水処理を行ってください。
④アース線は電源固定板上のアースネジに接続してください。
必ずD種(第3種)接地工事を施してください。
不備がありますと**感電・火災の原因**となります。

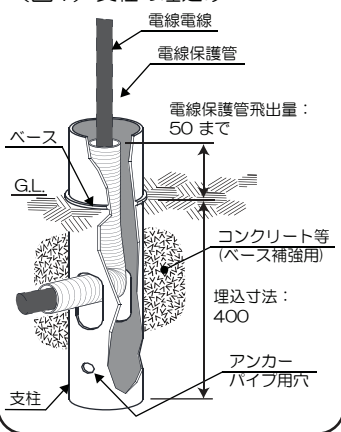


4A. 本体・灯具ユニットの順に固定する(図2)

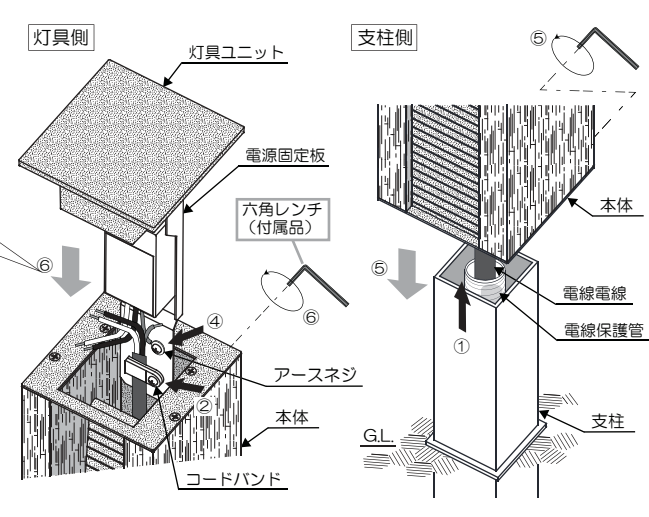
<H-302G・Hのみ>

- ⑤本体を支柱に静かにかぶせ、背面下側のゆるめておいた本体取付ネジを再び締め付けて本体を固定します。
取付ける方向を確認し、器具内配線をはさまないように注意してください。
- ⑥次に灯具ユニットを本体に静かに差込み、同様に背面の灯具固定ネジを再び締め付けて灯具ユニットを固定します。
器具設置後は電源を入れて点灯させ、正しく接続されているかを必ず確認してください。

(図1) 支柱の埋込み



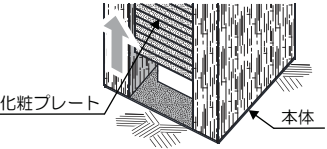
(図2) 器具内配線の接続と取付 <図はH-302G・H>



部品名称と取付方法・続き

(4A. 続き)

- 灯具ユニット固定後は同様の手順で化粧プレートをもとに戻し、確実に取付けられているかご確認ください。

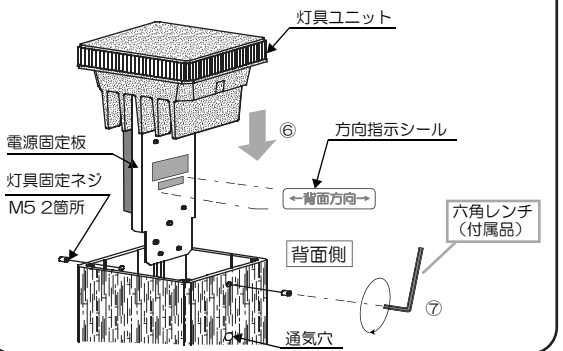


4B. 本体・灯具ユニットの順に固定する(図3)

<H-303G・H / H-304G・H>

- ⑤本体を支柱に静かにかぶせ、背面下側のゆるめておいた本体取付ネジを再び締め付けて本体を固定します。
- ⑥次に灯具ユニットの電源取付板に貼付してある方向指示シールを確認し、通気穴のある本体背面側に方向指示シールが向くよう、取付ける向きに注意しながら灯具ユニットを本体に静かに差込んでください。
器具内配線をはさまないように注意してください。
- ⑦本体の正面と背面にある灯具固定ネジを再び締め付けて灯具ユニットを固定します。
器具設置後は電源を入れて点灯させ、正しく接続されているかを必ず確認してください。

(図3) 器具内配線の接続と取付 <図はH-304G・H>



※器具の送り配線について

- 器具内は構造上、十分な配線スペースが無い場合がございます。
電源電線の引き込みは器具1台あたり送り配線を含め2本までとし、無理な接続をしないでください。
- 配線方法につきましては別途お問い合わせください。

照明器具ご使用についての安全上のご注意

警告



火災のおそれがあります

◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。
また揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。



やけどのおそれがあります

◇点灯中および消灯直後のLEDユニット周辺にさわらないでください。



感電・火災のおそれがあります

◇器具及び部品の改造をしないでください。
◇器具のすきまに、異物(金属類や燃えやすい物等)を差し込まないでください。

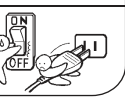


感電・火災のおそれがあります

◇異常時(煙が出たり、変な臭いがする時)には、速やかに電源を切ってお買上げの販売店にご相談ください。

感電のおそれがあります

◇器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。



注意

◇明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に(6ヶ月に1回程度)清掃、点検してください。

器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べください。

◇3~5年に1回は、電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換ください。
◇照明器具には寿命があります。設置後およそ8~10年経過しますと外観に異常が無くても内部の劣化は進行しています。必ず点検・交換をしてください。

点検せずに長時間使い続けると、**感電・火災・発熱・性能劣化のおそれ**があります。

(使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯。JIS C 8105-1 解説による)

◇周囲温度が高い場合、連続点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

◇器具の近くに温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。

不備がありますと、**器具の変形や火災の原因**となることがあります。

◇LEDの光色・明るさには若干の個体差があります。あらかじめご了承ください。

◇この器具のLEDユニットの交換は、**修理扱い**になります。

詳しくは、この器具をお求めの**電気店・最寄りの弊社営業所**へお問い合わせください。

◇無理に器具を分解して一般のLED素子と交換しないでください。**火災・発熱・器具破損の原因**となります。